

平成22年度 3月号



二中だより

◆校訓 まごころ

◆学校教育目標 明朗 向上 自主・自立
《40周年テーマ 伝統と誇りある学校の創造》

新座市立第二中学校
新座市野火止7-17-10
TEL 048(477)1212



伝統を伝える

今年度も残すところあと1ヶ月になりました。3年生は、公立高校の後期試験の願書提出が終わり、3月4日の入試に向けて追い込みの時期になりました。もう一息です。頑張してほしいと思います。ご家庭でもこの時期は神経を使う時期だと思いますが、子ども達の力を信じて応援をしてあげてください。

1・2年生は3月8日の三送会へ向けて、準備に余念がありません。劇や歌の練習、装飾のステンドグラスの準備に一生懸命取り組んでいます。この三送会の準備も毎年繰り返される第二中学校の伝統行事です。前年度の学年が取り組んだ事を思い起こしながら、さらによいものへ磨きをかけるよう一人一人が懸命に準備に向かう様子は頼もしく感じられます。

歌声で伝える

卒業式での3年生の歌声、2年生の歌声は共にすばらしく、毎年感動を与えてくれます。2学期の合唱祭のすばらしい歌声を思い出すと、今年もきっとすばらしい合唱になるだろうなど期待がふくらみます。

今年の卒業式の3年生の合唱は、「大地讃頌」と「旅立ちの日に」です。この「旅立ちの日に」は、こんなエピソードがあります。

20年前、当時埼玉県秩父市立影森中学校の小嶋登校長先生が、学校をよりよくしていくために「合唱の響く学校にしよう」ということを訴えられました。そのとき音楽の先生だった坂本浩美先生が「卒業生に歌を送りたいので、詩を書いてください」と校長先生にお願いをしたそうです。定年を迎える小嶋校長先生が最後の卒業生のために一晩で書き上げた詩に、坂本(旧姓)先生が曲を付けました。そして影森中学校の三送会で先生方が合唱で披露されたのがこの

校長 森田 和 憲

「旅立ちの日に」だったのです。

この歌が歌い継がれ、今では全国の学校で卒業式や卒業のイベントで歌われる定番の歌になりました。また、いろいろな歌手の方が歌い、CDにも入れられています。

白い光の中に 山並みは萌えて
はらかな空の果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ
自由をかける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼に込めて 希望の風に乗り
この広い大空に 夢を託して

その小嶋先生が今年1月20日80歳でなくなられました。音楽関係者を含め多くの方が葬儀に参列されたそうです。

この歌には、「いい学校にしたい」という小嶋校長先生の思いが込められている気がします。今年歌う「旅立ちの日に」は、小嶋校長先生の思いを踏まえ、特別な思いをもって歌ってほしいと思います。

「第二中学校がさらによくなるように」「歌声という伝統がさらにつながっていくように」3年生には、そんな気持ちを込めて下級生達に伝えてほしいと思います。

1・2年生はその歌声を受け、さらにすばらしい伝統を作り上げていってください。

